

室町幕府 管領施行

かん れい し ぎよう

亀田 俊和 著

2013年3月刊行

システムの 研究

▶A5判・544頁／定価 10,290円 (税5%込)

ISBN978-4-7842-1675-8

本書は、応仁・文明の大乱以前の室町幕府における根幹の制度であり、將軍の主従制的支配権を強化・促進し、全国の武士・寺社本所に権益を与えることによって政権基盤の強化に大きな貢献を果たしたと評価できる管領施行システムの沿革と意義を分析・解明する。

◆◆目次◆◆

序章 室町幕府訴訟制度史研究の現状と課題
—南北朝期～室町期を中心として

第一部 鎌倉幕府・建武政権の施行システム

- 第一章 鎌倉幕府下文・下知状施行状の基礎的研究
- 第二章 鎮西探題下知状執行命令の形成と展開
- 第三章 建武政権雑訴決断所施行牒の研究
—綸旨施行命令を中心として
- 第四章 陸奥將軍府恩賞充行制度の研究

第二部 室町幕府管領施行システムの形成

- 第一章 室町幕府執事施行状の形成
—下文施行命令を中心として
- 第二章 観応の擾乱以降の下文施行状の展開
- 第三章 南北朝期室町幕府仁政方の研究

第三部 室町幕府地方統治機関の 施行システム

- 第一章 鎌倉府施行状の形成と展開
- 第二章 南北朝前期九州地方の
恩賞充行—施行体制の研究
- 第三章 南北朝期奥州探題の恩賞充行制度の研究

第四部 室町幕府管領施行システムの展開

- 第一章 室町幕府安堵施行状の形成と展開
- 第二章 寄進状施行状の施行文言の分化に関する一考察
- 第三章 室町幕府管領施行状の展開
—段銭免除・守護使不入化命令を中心として
- 終章 本書の研究成果の概要

索引

かめだ・としたか…1973年秋田県生。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学，京都大学博士(文学)，日本学術振興会特別研究員を経て，現在 京都大学文学部非常勤講師，兵庫大学兼任教育職員。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	室町幕府管領施行システムの研究		本体9,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1675-8
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
				本書HPのQRコード	書店番線印

東寺百合文書 【既刊10冊】

京都府立総合資料館編

東寺に襲蔵されてきた奈良時代から江戸時代初期まで約900年にわたる、総数18,000点・27,000通におよぶ日本最大の古文書群である国宝・東寺百合文書。本史料集には「ひらかな之部」刊行中の『大日本古文書』未収録の「カタカナ之部」を翻刻。(最終全60巻の予定)

- 第1巻(イ函・ロ函一) 490頁/定価9,975円 ISBN4-7842-1182-9
- 第2巻(ロ函二) 446頁/定価9,975円 ISBN4-7842-1224-8
- 第3巻(ロ函三) 444頁/定価9,975円 ISBN4-7842-1266-3
- 第4巻(ロ函四・ハ函一) 454頁/定価9,975円 ISBN4-7842-1319-8
- 第5巻(ハ函二) 454頁/定価9,975円 ISBN978-4-7842-1364-1
- 第6巻(ハ函三・ニ函一) 432頁/定価9,975円 ISBN978-4-7842-1435-8
- 第7巻(ニ函二) 450頁/定価9,975円 ISBN978-4-7842-1480-8
- 第8巻(ニ函三、ホ函、ヘ函、ト函一)
- 第9巻(ト函二・チ函一) 446頁/定価9,975円 ISBN978-4-7842-1585-0
- 第10巻(チ函二) 478頁/定価9,975円 ISBN978-4-7842-1657-4

東寺文書と中世の諸相

東寺文書研究会編

日本の古文書を代表する史料群であり、中世の基本史料である東寺文書。そのうち東寺百合文書は1997年に国宝指定をうけている。本書は、東寺文書に魅せられた中世史研究者により、1994年以降続けられた東寺文書研究会での研究成果の第二弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。

▶A5判・654頁/定価11,550円 ISBN978-4-7842-1578-2

*東寺・東寺文書の研究

上島有著

第21回角川源義賞受賞

近世文書や聖教類も含めた東寺文書の整理の歴史を、東寺と東寺文書の研究に永年携わってきた著者が、寺史や伝来とも関わらせて集大成。【内容】東寺の歴史・東寺文書の伝来と現状/東寺百合文書の整理と目録作成/東寺文書をめぐって/付:文書編年目録/索引

▶A5判・872頁/定価17,850円 ISBN4-7842-0979-4

中世の契約社会と文書

村石正行著

売買・貸借などの契約関係を題材に、それに関わる契約者双方の文書作成のあり方を検証。「塵芥集」における法慣習なども援用しながら、双方向の文書授受とそれにまつわる文書作成が一般的におこなわれていた可能性を示す。

▶A5判・352頁/定価7,875円 ISBN978-4-7842-1668-0

室町・戦国期研究を読みなおす

中世後期研究会編

踏まえる、拓く——若手研究者が提示する研究の過去・現在・未来【執筆】松永和浩/桃崎有一郎/山田徹/吉田賢司/平出真直/尾下成敏/西島太郎/清水克行/三枝暁子/早島大祐/高谷知佳/大田社一郎/安藤弥

▶A5判・408頁/定価4,830円 ISBN978-4-7842-1371-9

中世日本の政治と文化

思文閣史学叢書

森茂暁著

鎌倉時代から室町時代にかけて、現存している古文書や、政治と深く関わった宗教者から、「中世日本」とはどのような時代だったのかをひもとく、さらに『増鏡』や『太平記』、「博多日記」という記録史料など、文芸作品からのアプローチをも試みる。中世の政治と文化を総合的に明らかにした論考15篇を収録。

▶A5判・480頁/定価9,450円 ISBN978-4-7842-1324-4

増補・改訂 南北朝期公武関係史の研究

森茂暁著

南北朝期の公家政局の構造および朝廷と幕府との関係を、豊富な史料をあげて実証的に読み解き、その後の中世政治史の発展を決定づけた、1984年文献出版刊行の名著を増補・改訂して復刊。増補にあたっては、旧版刊行後に見いだされた基礎データ等を収録。

▶A5判・612頁/定価9,450円 ISBN978-4-7842-1416-7

戦国大名権力構造の研究

村井良介著

主に毛利氏を事例に、戦国大名、「戦国領主」の重層的な権力構造の分析から、戦国期の権力諸関係の特質を、理論的かつ実証的に描くことにより解明する。【内容】毛利氏の山陰支配と吉川氏/毛利氏の「戦国領主」編成とその「家中」/一六世紀後半の地域秩序の変容/戦国期における領域的支配の展開と権力構造 ほか

▶A5判・452頁/定価7,350円 ISBN978-4-7842-1610-9

戦国大名佐々木六角氏の基礎研究

村井祐樹著

佐々木六角氏について、可能な限り一次史料を用い、六角氏や家臣の動向、実態など基礎的事実を明らかにする。また、応仁元年(1467)～元和6年(1620)の、六角氏及び家臣の名が見える記録類を全て網羅した史料集の稿本を付し、『戦国遺文 佐々木六角氏編』とあわせることで、戦国時代の佐々木六角氏関係史料はほぼ全て集成する。

▶A5判・530頁/定価12,180円 ISBN978-4-7842-1663-5

*戦国大名武田氏の権力構造

丸島和洋著

戦国大名はどのような伝達ルートを通じて家中の内外との意思疎通を行ったのか?甲斐武田氏を分析対象とし、家中を代表して他大名との外交を担った「取次」に着目。領国支配における意思伝達経路の検討とあわせて、大名権力の中核を構成する家臣や、大名と家臣の関係について見つめ直し、戦国大名の権力構造を明らかにする。

▶A5判・436頁/定価8,925円 ISBN978-4-7842-1553-9

室町期東国社会と寺社造営

小森正明著

思文閣史学叢書

寺社の造営事業は、寺社を中心とする経済活動—寺社領経済—の発展に大きな効果をもたらした。本書は、鎌倉府体制下にあった室町期の東国社会に、寺社造営事業と寺社領経済が与えた影響を考察する。「香取文書」など中世東国の「売券」の長年にわたる分析に基づく成果。

▶A5判・356頁/定価7,350円 ISBN978-4-7842-1421-1

東国における武士勢力の成立と展開

—東国武士論の再構築— 思文閣史学叢書

山本隆志著

東国武士を武士勢力としてとらえ、京・鎌倉での活動と連動しながら本領で法会・祭礼を主催するなかで政治的支配力を形成していることを、具体的に論じる

▶A5判・384頁/定価6,825円 ISBN978-4-7842-1601-7

日本中世政治文化論の射程

山本隆志編

筑波大学大学院にて24年間にわたり、中世東国社会史に取り組んだ編者の指導・学恩を受けた執筆者による、歴史学・思想史・民俗・生活史など、多岐にわたる研究成果を収録した論文集。第一部:政治制度と実効支配/第二部:政治権力と地域社会/第三部:民俗と宗教

▶A5判・344頁/定価8,190円 ISBN978-4-7842-1620-8

*戦国期権力佐竹氏の研究

佐々木倫朗著

室町期から戦国期にかけ、常陸国佐竹氏がどのような過程をへて権力形成を行ったのか。一族衆や国衆等の活動、佐竹氏と地域社会との関わりやその地域編成について、佐竹氏が発給した「知行充行状」・秋田藩家蔵文書等の史料を通じて考察することで、従来捨象されがちであった戦国期の権力編成の姿を浮き彫りにする。

▶A5判・304頁/定価6,090円 ISBN978-4-7842-1569-0

鎌倉時代の権力と制度

上横手雅敬編

鎌倉時代史をリードしてきた編者と、次世代を担う関西の若手研究者により結成された鎌倉時代研究会の初の論集。「公家政権」「鎌倉幕府」「宗教と寺社」の3篇からなり、各分野のスペシャリストたちがそれぞれの視点から最新の研究成果を披露する。

▶A5判・358頁/定価6,825円 ISBN978-4-7842-1432-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。